

第 46 期

事業報告

(2014年度)

自 2014年4月1日
至 2015年3月31日



公益財団法人
内藤記念科学振興財団

〔Ⅰ〕第46期（平成26年度）事業概要

内藤記念科学振興財団は、昭和44年4月7日付け、委大第4の1号をもって文部大臣より設立の許可を受けて、定款に定められた諸事業を開始した。平成26年4月1日から平成27年3月31日に至る第46期（平成26年度）の事業活動として、定款第3条に掲げる、「人類の疾病の予防と治療に関する自然科学」の研究を奨励し、もって学術の振興と人類の福祉に寄与することを目的として、定款第4条に基づき下記の諸事業を行った。

1. 第46期（平成26年度）の事業について

平成26年度は、以下の事業を実施した。

（1）公募事業

① 科学振興賞（褒賞）

科学振興賞は、当財団が定めた日本遺伝学会ほか計27の学会（長）、ならびに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼し、7件の候補を受け付け、選考委員会で審査した後、理事会において受賞1件を決定した。

② 科学奨励金・研究助成

科学奨励金・研究助成は、400件の申請を受け付け、100件を採択した。

③ 科学奨励金・若手ステップアップ研究助成

科学奨励金・若手ステップアップ研究助成は、23件の申請を受け付け、3件を採択した。
平成24年度および25年度からの継続分それぞれ3件を合わせ、合計9件を助成した。

④ 女性研究者研究助成金

女性研究者研究助成金は、出産や育児によって研究を中断した女性研究者の研究職場への復帰と研究業績向上の支援を目的として設立された。平成26年度は71件の申請を受け付け、20件を採択した。3年目を迎える平成24年採択の19件については、審査の上継続を決定した。
平成25年度からの継続分20件を合わせ、合計59件を助成した。

⑤ 海外研究留学助成金

海外研究留学助成金は、60件の申請を受け付け、15件を採択した。

⑥ 海外学者招聘助成金

海外学者招聘助成金は、16件の申請を受け付け、16件全件を採択した。

以上、②～⑥までの5事業については、全国の国立・公立・私立大学など692の自然科学系研究機関の長、ならびに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼した。なお、⑥の海外学者招聘助成金については、この他に当財団が定めた27学会（長）にも推薦を依頼した。受領者の採択は、選考委員会での審査・選考を経た後、理事会で決定されたものである。

⑦ 若手研究者海外派遣助成金

若手研究者海外派遣助成金は、39件の申請を受け付け、31件を採択した。

四半期毎に年4回申請を受理し、選考分担理事4名および選考委員長で構成される審査会で審議・決定された。

⑧ 講演助成金

当財団が定めた27の学会（長）、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼し、国際会議の開催時期に応じて、四半期毎に年4回申請を受理した結果、19件を受け付け、選考分担理事4名および選考委員長で構成される審査会で審議の上、常務理事が決裁し、19件を採択した。

⑨ 特定研究助成金

平成26年7月に第37回内藤コンファレンス『バイオイメージングがめざすもの』、同年10月に第38回内藤コンファレンス『生物システム物質的基盤』を開催し、それぞれの組織委員会においてポスター発表者の中から10件を選出し、各内藤コンファレンスとも、10人に500万円、総額1,000万円を助成した。加えて平成27年度に開催される第39回内藤コンファレンス『有機分子触媒の化学』の組織委員4人に600万円、第40回内藤コンファレンス『エピジェネティクス—ヒストンコードから治療戦略へ』の組織委員長を含む組織委員5人に900万円、合計9人に総額1,500万円を助成した。

公募助成金の応募件数と採択件数、平成26年度支払った助成金額は次のとおりである。

助成金の実績

科 目	申請数	採択件数	採択率	予 算	贈呈額
科学振興賞（含金メダル）	7 ^件	1 ^件	14%	10,617,000 ^円	10,612,036 ^円
科学奨励金・研究助成	400	100	25	300,000,000	300,000,000
科学奨励金・若手ステップアップ研究助成	23	3	13	30,000,000	11,000,000
（平成24年度からの継続分）	3	3	100		7,900,000
（平成25年度からの継続分）	3	3	100		7,500,000
女性研究者研究助成金	71	20	28	120,000,000	40,000,000
（平成24年度からの継続分）	19	19	100		38,000,000
（平成25年度からの継続分）	20	20	100		40,000,000
海外研究留学助成金	60	15	25	45,000,000	45,000,000
海外学者招聘助成金	16	16	100	10,000,000	9,300,000
若手研究者海外派遣助成金*	39	32	82	10,000,000	9,900,000
講演助成金	19	19	100	8,000,000	9,500,000
特定研究助成金	128	29	23	28,000,000	25,000,000
合 計	808	280	35	561,617,000	553,712,036

*平成26年度に1件辞退あり。

以上、公募9事業において、申請808件に対して280件を採択し、総額553,712,036円を助成した。なお、上記助成額に加えて、科学奨励金・若手ステップアップ研究助成は1,480万円、女性研究者研究助成金は4,000万円の次年度以降の支払いが、すでに確定している。

全ての助成金の受領者一覧表を 添付資料 として巻末に掲載した。

（2）助成事業以外の事業

① 講演事業（定款第4条第1項第7号）

a. 第37回内藤コンファレンスの開催結果

平成26年7月15日（火）午後から7月18日（金）正午まで、北海道ニセコ町 ヒルトンニセコビレッジにおいて、大阪大学免疫学フロンティア研究センター 審良静男教授を組織委員長として、第37回内藤コンファレンス『バイオイメージングがめざすもの』を開催した。平成26年度の費用総額は2,920万円であった。

b. 第38回内藤コンファレンスの開催結果

平成26年10月7日（火）午後から10月10日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼガトーキングダム サッポロにおいて、東京大学大学院理学系研究科 福田裕穂教授を組織委員長として、第38回内藤コンファレンス『生物システムの物質的基盤』を開催した。

平成26年度の費用総額は2,715万円であった。

c. 第39回内藤コンファレンスの開催準備

平成27年7月6日（月）午後から7月9日（木）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼ
ガトーキングダム サッポロにおいて、京都大学大学院理学研究科 丸岡啓二教授を組織
委員長として、第39回内藤コンファレンス『有機分子触媒の化学』を開催するため、組
織委員会を編成しプログラムをまとめた。開催準備費用として、平成26年度は123万円を
支出した。

d. 第40回内藤コンファレンスの開催準備

平成27年9月15日（火）午後から9月18日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレーゼ
ガトーキングダム サッポロにおいて、理化学研究所吉田化学遺伝学研究室 吉田稔主任
研究員を組織委員長として、第40回内藤コンファレンス『エピジェネティクスーヒストン
コードから治療戦略へ』を開催するため、組織委員会を編成しプログラムをまとめた。
開催準備費用として、平成26年度は102万円を支出した。

② 内藤記念くすり博物館での企画展示

理事会での承認を得て、内藤記念くすり博物館での資料収集・展示事業として企画展
『がん ～古から未来へ～』を開催し、開催費用として401万円を支出した。

③ 広報誌「内藤財団時報」の発行

本誌発行の目的は、当財団の設立趣旨と研究助成事業等の活動内容を公表し、大学・研究
機関等およびご支援を受けた寄附者などの多くの関係者に、当財団への理解を促すととも
に、定期的に活動内容のレビューを行うことにより、多方面からの継続的な支援を願うこ
とにある。

第94号（平成26年9月4日）および第95号（平成27年3月18日）を発行し、寄附者、全国の
研究機関、当財団の役員等関係者、助成金受領者、報道関係、他財団等に配布した。

*『内藤財団時報』第94号…………… B 5判103頁、2,000部、116万円

*『内藤財団時報』第95号…………… B 5判115頁、2,200部、126万円

合計242万円を支出した。

2. 事業報告附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがない。